

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和3年度第3回米原市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年8月5日（木） 午後1時30分から午後3時
開 催 場 所	本庁舎4AB会議室
出席者および 欠席者	<p>【出席者】 （構成員） 平尾道雄市長、馬淵均教育長、中川清和教育長職務代理者、法戸繁利委員、膽吹照子委員、本庄通子委員（計6名）</p> <p>（事務局） 鹿取輝之政策推進部長、清水正樹政策推進課長、松村英香政策推進課課長補佐、上村浩教育部長、西村善成教育部次長、山口昌章学校教育課長、藤田明子学校給食課長、梶田悟生涯学習課長、花部正人スポーツ推進課長、立木ひろみくらし支援部長、口分田剛くらし支援部こども未来局長、小寺真司保育幼稚園課長、石河輝男子育て支援課長、ほか担当職員2人、民間事業者（教育振興計画策定支援）1人（計16人）</p>
議 題	<p>第3期米原市教育振興基本計画 素案について</p> <p>（1） 第3章教育大綱について</p> <p>（2） 第4章施策の展開について</p>
結 論	<p>教育大綱、施策の展開ともに、大筋として原案どおりとするが、基本目標4（スポーツ、健康づくり）について一部修正を加えることとする。また、全体に渡り再度校閲を行い、言葉の意味や使い分けの確認を行う。（特に「特別支援」と「特別な支援」の使い分け）</p>
審 議 経 過	<p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 市長あいさつ 市長の平尾でございます。 委員の皆さんにおかれては、お忙しいところ出席いただきお礼申し上げます。 連日、30度を超える日が続いている。こうした暑さの中で、東京オリンピックも残すところあと3日となった。同時に新型コロナウイルス感染症で、第5波の影響が大きく懸念されている現状であるが、米原市からホッケー競技に6名がオリンピックとして出場された。残念ながら予選突破とはならなかったが、吉川選手、田中選手、森選手といった方々をメディアで拝見して本当に素晴らしいパフォーマンスを発揮され、子どもたちをはじめ、市民にとって大きな誇り、憧れ、レジェンドとして記憶に残ったのではないかと思います。 さて、本日の総合教育会議は、教育大綱について前回、皆さんから様々な御意</p>

	<p>見をいただき、事務局で修正をしたので、改めて修正箇所について説明を行う。同時に、この計画第4章の施策の展開については、素案が出来たので新規施策を中心に意見を頂戴したい。</p> <p>皆さんには、教育大綱を今後の教育施策の具体的施策を決定づける方向性のあるものとして、忌憚のない御意見をお願いしたい。</p>
事務局	<p>米原市総合教育会議規則第4条第1項の規定に基づき、議事進行は市長にお願いする。</p>
市長	<p>それでは、協議事項の一つ目である第3章の教育大綱について、まずは事務局から説明を行う。</p>
事務局	<p>(事務局から説明)</p>
市長	<p>皆さんから御意見いかがか。</p>
委員	<p>教育大綱は、教育関係者だけでなく、広く市民の皆さんに読んでいただく文章となる。修正部分も含めて分かりやすい表現になったと思う。</p>
委員	<p>第4章に関わることであるが、基本目標2で「ふるさとを愛する人を育てます」という文言が今回から追加されたと思うが、その経緯がわかれば教えてほしい。</p> <p>例えば、63ページの基本目標1に関わる部分では「ふるさとを愛し誇りに思う心の育成」、62ページの(5)文中には「米原市特有の地域の行事や特産品を子どもに伝えていくことが必要」、51ページの基本目標5では「市民の郷土への愛着と誇りを育て、市民自身がその担い手となれるよう、地域での活動を支援します」とある。様々な部分でふるさとを愛するという意味の言葉が出ているので、この文章をどこで使うのが一番良いのか疑問に思った。</p>
事務局	<p>基本目標1では、主に子どもたちの教育に関わるものであり、子どもにふるさとを愛する心を育んでいこうというものである。基本目標5では、もう少し広い形で、若者や大人を含めた市民を対象として整理をしている。</p>
委員	<p>基本目標2の中で、「子どもの人に感謝する心、ふるさとを愛する心をはぐくみます」とある。これは、子どもに対してのものなので、目標のなかでふるさとを愛する「心」となれば、もう少し広い範囲になると思う。ふるさとに愛着を持</p>

	<p>って住み続けられるという思いを持ち、子どもだけでなく大人にも持ってもらおうという意味になると思うが、後ろの施策のなかでは「ふるさとを愛する心」についての内容的なことが出てこないで、この表現はほかの場所に移しても良いかと感じた。</p>
事務局	<p>第4章 施策の展開の具体的な内容のなかで、もう少し説明文を加えたい。</p>
市長	<p>51 ページの基本目標5のなかで若干の修正が入ることか。</p>
事務局	<p>第4章 施策の展開のうち、委員の発言に関する部分について、少し説明を追加するものである。</p>
市長	<p>大綱に修正は入るのか、それ以降の第4章 施策の展開で修正が入るのか。</p>
事務局	<p>第4章についての追加修正である。</p>
市長	<p>大綱部分の49～51 ページの修正は必要ないのか。</p>
事務局	<p>基本目標1、2は主に児童生徒や就学前の子どもを対象としており、基本目標5は広い意味で「市民のみなさんを」という意味で目標を掲げているので、皆さんがよろしければ、大綱としてはこのままで良いかと思うが、いかがか。</p>
市長	<p>「ふるさと」とくると、「愛する」とか「郷土」ということが繰り返し出てきている。それに対して、事務局の説明としては「子ども向け」「大人向け」という内容であり、焦点が定まっていなように感じる。</p>
委員	<p>「ふるさと」という言葉の大きな意味を考えたときに、自然や地域の特色を指している場合もあれば、基本目標2であれば学校・地域・家庭など人とのつながりを指していると思うので、そういう意味で入れられているのではないかと思う。</p>
市長	<p>また疑問があれば発言いただきたい。</p>
委員	<p>大綱は大きく表現されていて、分かりやすい表現で良いと思う。</p>
委員	<p>前回の大綱からの追加として基本目標2に「ふるさとを愛する人を育てます」</p>

	<p>という文言が入ったので、人を育てるという意味で子どもたち向けの教育目標として「ふるさとを愛する心を育む」という表現が入ってきたのだと理解した。後の基本目標5は全体的な目標として自然、歴史など地域全体のことを指しているのので、市全体を含んだふるさとという意味で市民に対しての基本目標だと理解した。</p> <p>そういう意味で基本目標2は「人を育てる」ということに重きを置いていて、基本目標5は「自然を愛する」とか、米原市全体をふるさととして愛着を持っていくということとして解釈したので、教育的なことは基本目標2で全体的なことは基本目標5で分けられていてわかりやすいと思った。</p> <p>もう一点、気になったのは「基盤」という言葉である。基本目標1で「基盤」を「基礎」に修正されたことに対して事務局の説明は理解したが、基盤というのは本当に「重き」を置いた「基」となる表現であるので、家庭教育を大事にしようという思いが「基盤」という言葉で表現されたのかと思う。</p> <p>学校教育にもつながることであるが、区別する意味では、「基盤」のほうが重みは伝わると思うし、対比させてこのように変更されたのは良かったと思う。</p>
教育長	<p>先程、指摘された文章は「ふるさと」の意味としては山や川、人々となっていくが、形としては先ほどの事務局の説明のとおり、63ページの5つ目「ふるさとを愛し誇りに思う心の育成」は続く説明にも記載のとおりだが、「米原の自然、歴史、文化」などを指すのでこのままで良いと思う。</p>
市長	<p>ほかに御意見などいかがか。</p>
委員	<p>基本目標4で「スポーツの力で市民の一体感を醸成し」という一文はインパクトがあり気になる。想像するに今、オリンピックでスポーツに大変関心が高まっているが、スポーツはサロンでの健康体操や競技スポーツ、生涯スポーツなどを含めた広い意味だと思うが、例えば、いきいきサロンでの健康体操で市民の一体感を醸成するというのは難しい。市民の一体感を醸成するのはスポーツだけではないと思う。この部分はもう少し柔らかい表現にするほうがスポーツをいきいきと長く続けられるように感じられるのではないか。</p>
市長	<p>「スポーツの力で市民の一体感を醸成する」という表現は、ほかの基本計画でも出ているのか。</p>
委員	<p>この表現はスポーツ推進計画のなかで取り扱われているので、そちらでこの表現を使えば良いのではないか。この教育振興基本計画では、もう少し幅広い年齢</p>

事務局	<p>層で使えるようなものにしてはどうか。今のスポーツは見ること、すること、支えることなど様々な関わり方ができるので、どのようにそのことをみなさんに知ってもらえるかが重要だと思う。</p> <p>委員の発言のとおり、スポーツ推進計画の中から引用している部分でもあり、競技スポーツのイメージが強いのも確かである。表現的に健康づくり、生涯スポーツの意味も含めた表現にしたいと思うので、この一文を削り「スポーツや健康づくりなどの活動の充実を図り、地域と地域がつながるまちの実現を目指す」として、ここでは全般的なことが考えられる表現にすることとし、個別の取り組みは、スポーツ推進計画のなかで進めていくということかどうか。</p>
委員	<p>個人的な意見であるので、皆さんはいかがか。</p>
事務局	<p>この文を作った経過としては、基本計画の前期5年が終わり、後期計画5年間のなかでどうやって進めていくかを考えて大綱を見直した。国民スポーツ大会やオリンピックなどを控えるなかで、スポーツに力を入れていかなければならないという思いである。</p> <p>前段は、生涯学習という意味で芸術や文化を表しており、後段でスポーツと健康づくりという二つの項目で構成したところである。</p> <p>日常のスポーツ、健康づくりなども重要であるので、次の章で説明している。基本目標4では確かに、スポーツの意味合いが強くなっているものの、これは今後5年間の国スポなども見据えた醸成づくりへの意識があつてのことである。</p>
市長	<p>事務局の説明では、国スポなどを見据えて書き込んだということであるが、基本計画などの段階で落とし込んでいるのは分かるが、大綱で「スポーツの力で市民の一体感」といったことを書き込むのは違うように思う。スポーツはもっと多様なものだと思うので、あまり行政の意見ばかり入れ込むのはどうかと思う。やはり、ここはもう少し表現を変えても良いのかと思った。</p> <p>ほかに御意見がなければ、一旦ここで集約したいと思うがいかがか。</p>
(委員一同)	<p>(異論なし)</p>
市長	<p>では、これまでの意見をふまえて修正をするのかどうか、修正するのであればどのような内容とするのか、後日委員の皆さんに検討してもらおうかどうかも含めて一旦事務局で検討するように。</p> <p>ただ、私としてはスポーツの力や一体感に変わる表現があれば修正してほしい。</p>

<p>(委員一同)</p>	<p>い。51 ページの基本目標 4 の文章をスポーツの多様性、それぞれの参加の仕方を広範に受け入れることで地域と地域をつなげるという意味になるように、検討・修正することとし、ほかの部分はそのまま原案のとおりで教育大綱の内容をとりまとめるということによろしいか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>お礼申し上げます。</p> <p>では、協議事項二つ目、第 4 章施策の展開について事務局から説明申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局より説明)</p>
<p>市長</p>	<p>皆さんから御意見いかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>新規施策について、今後 5 年間の今日的課題を踏まえて設定され、審議会でも議論されているということで、この案で良いと思う。</p> <p>別の話題になるが、現在では小中学校の教科書の巻末に執筆者や教科書を作成する上での注意事項とともに、全体に渡って校閲している旨の表記がある。この教育大綱についても、人権や特別支援教育の観点、法的見解の観点から統一性があるか、検証する必要があるのではないか。</p> <p>私の認識であるが、障がいについて以前は「持つ、持たない」と表現していたが、今日では「ある、なし」と表現することがスタンダードになった。前回の大綱では「持つ」という表現が残っている部分があった。今回の大綱ではすべて「ある、なし」の表現に統一されていた。</p> <p>ただ 1 点だけ気になることがある。71 ページの「特別支援教育の充実」の欄で「特別支援教育コーディネーターが中心となって、特別な支援を必要とする子どもの実態把握や指導・支援内容を協議するとともに、学校内の関係者や外部関係機関との連絡調整、保護者との相談、担任への支援、行内委員会の運営を行います。」とある。73 ページの「現状と課題」の 2 つ目の項目「特別な教育的支援を必要とする児童生徒には、一人一人の教育的ニーズに応じ、その能力や可能性を最大限に伸ばすことができるよう、家庭や医療、福祉などの関係機関との連携を一層強化し、教育と支援の充実を図ることが必要です。」とある。</p> <p>表現の内容について専門家から統一した視線で見てもらわなければならないか。</p> <p>私の認識では「特別支援」と「特別な支援」は異なるものだと考えている。「特別支援」は固有名詞で障がいのある人への支援であり、「特別な支援」は家</p>

	<p>庭事情などにより様々な配慮が必要な人への支援だと考えている。</p> <p>71 ページは特別支援に関することであるので「特別な支援」という表現はどうかと思う。</p> <p>私の認識が正しければ、経済的、家庭的な事情により支援を必要とする子どももこの部分に含まれてくると思う。こういう観点から、全体を校閲してもらう必要があるかと思う。</p>
市長	<p>言葉の使い方に対する御意見であったが、必要に応じて修正をするように。</p>
事務局	<p>特別支援教育について、通常、特別な支援を必要とする子どもたちに対して使われる表現であるが、委員の発言のとおり、貧困などを含めた特別な支援と表現することもあるのもう一度確認する。</p>
委員	<p>専門的な方へ校正を依頼されることを期待し、表現は全体として統一すべきだと思う。</p> <p>新しい見解があるのであれば、それに応じるかたちで、表現を統一すべきだと思う。</p>
市長	<p>今の発言に関連して、御意見いかがか。</p> <p>基本目標3を読んでいるなかで、この6月の国会で、医療的ケア児支援法が成立したが、行政としてもこの間、一貫して学校や就学前子育て施設で看護師の派遣を求められていながら、なかなかそれが進んでいない。</p> <p>今までは親の責任としていたところがあるが、法律が成立すれば行政として公の施設に医療ケアが出来る人材を配置する必要が出てくる。大綱は今後5年間のこととしているのに、そのことが触れられていないのはいかがなものか。</p> <p>大綱では「一人ひとりを大切に」と記載している。そうした少数者を大事にするという意味で、内容に入れていくべきではないか。</p> <p>一人ひとりの特性、障がいも一つの特性であるので、それに伴う「生きづらさ」や「学びづらさ」を個人の責任にするのではなく、社会全体で支えるという時代に入るのだからその視点を入れるべきではないか。</p>
委員	<p>先程の委員の意見（校閲の必要性）は大変大事な視点だと思う。委員の発言のとおり専門家に見ていただいたうえで統一した表現にしてもらえたらと思う。</p> <p>71 ページでは「特別支援」とあるので、障がいのある子どもを対象にしていると思う。73 ページは様々な家庭的な事情などで特別な支援を必要とする子どもが増えてきているので、その子たちへの学習援助が必要という意味での記載だと思う。</p>

<p>教育長</p>	<p>うが、どういう使い分けか教えてほしい。</p> <p>様々な家庭事情があるなか、支援が必要なことが見えていない子どもも大変増えているので、その子たちへの支援や配慮が重要であり、十分備えておく必要があると思うが、どういう意図でこの表現を使い分けているのか。</p> <p>71 ページは特別支援教育についてである。先程の委員の意見では、「特別な支援」が必要な子どもというのは、障がいの有無に関わらず支援が必要ということであった。73 ページの解釈としては通常学級在籍であるが、支援が必要な子であり特別支援学級の子も含んだものである。通常学級に在籍しながら特別支援教育を受けている子もいて、区別が難しい現状もある。そういう実態も踏まえながらも一度、文言の意味を確かめて整理をするべきだと思う。</p> <p>世間一般で、言葉の使い分けが混在しているのも事実ではあるが、良い視点であるので、整理したい。</p>
<p>委員</p>	<p>古い話になるが、以前は特別支援教育を担当するのは特別支援コーディネーターや特別支援教育に関する免許を持った教師が対応していた。今は「特別な支援」を必要とする子どもへの対応は生徒指導担当が対応していると思う。学校では、言葉の字面だけでなく、そういった分担をしている背景がある。</p> <p>特別支援に「な」が入るかどうかで言葉の意味が随分変わるので、細かい部分ではあるが確認をお願いしたい。今日的な見解として統一できれば問題ないと思う。</p>
<p>市長</p>	<p>今回赤字で表記されているものが新たな課題で、子どもの貧困対策、ヤングケアラーなどが出てきている。我々行政の経験上からみると、こうした内容は今年予算化した「学校連携マネージャー」というものがあり、学校現場で教職員の視点を踏まえながらの対応が求められている。行政の視点からいえば、こうした内容は現場の対応の仕方であって本来、子どもの実態に対して課題解決するためには施策が必要であり、その施策を実行するためにはバックデータや得られる効果の予測が必要であるが、ここではそうした内容について記載がない。</p> <p>学校連携マネージャーと会議等で課題を共有して対応していく旨の記載にとどまっているが、例えば貧困の課題について昨年、本市でも貧困実態調査をしようとしたが、コロナの影響もあってできなかった。</p> <p>そのため、実態は把握できないので、たちまちの対応として学校連携マネージャーを設置して、課題をつかんでいこうと試みているところである。</p> <p>どうしても気になるのは、ひとり親、特に母子家庭で女性が働く現場の給料格差の問題、経済的地位の問題、そうした社会的な課題が子どもたちの貧困として</p>

事務局	<p>学習や進学のプロセスで課題になることも明らかなので実態、エビデンス、データをもって向き合わなければならない。</p> <p>本気で「生きづらさ」を取り除く、学習や学びの格差をどうやって公平にするか、格差を埋めるか、そのための施策が必要であるのに、ここでは出てきていないと思う。</p> <p>子どもに関わることの全てを教育基本振興計画に埋め込むわけではないが、被害を受けているのは間違いなく子どもだという観点に立てば、教育の中に子どもを守るための施策展開についての内容を入れていくべきではないか。</p> <p>すぐに回答できないと思うが、審議会にもこうした意見をつないでほしい。</p> <p>審議会の委員からは今の関連で、中学校入学の際に制服でかなり出費があることから、制服の仕立てをするとした支援を市でできないかという案をいただいた。</p> <p>経済的支援の中身で、中学校入学時の保護者負担軽減のための施策について既に取り組んでいることもあるが、大学進学への支援（給付型奨学金）について説明したところである。</p>
教育長	<p>68 ページのヤングケアラーの説明の最後で、「アウトリーチ（訪問支援）により既存の支援サービスにつなげる」としており、申請主義でなくこちらが実態を把握したら出向くという踏み込んだ表現をしている。</p> <p>74 ページの子どもの貧困対策については、「学校連携マネージャーは積極的に学校へ入り込み、教職員と連携しながら、気になる子どもを現場で把握し、生きづらさや諦め感のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげる」として、実際に学校連携マネージャーを中心に各校で気になりな子の数などの調査を既に済ませており、その結果を基に該当の子に対して積極的なアウトリーチを試みているところである。</p>
市長	<p>アウトリーチなど具体的な対策等について記載はあるものの、私はもう少し抽象的、科学的な話になるが、様々な現象は一定の時期に出てくると思う。教育の分野でいえば、例えば、入学、進学の際に、先ほどの制服の話のような課題が明らかになる。私は今、中学校のクラブ活動にかかる親の負担など、実態を把握して支援できないか検討しているところであるが、それは単に経済的な負担を埋めれば良いという問題ではなく、その人たちが「生まれてきて良かった」、「大学に行けて良かった」という未来に対する意欲を更に高められる、そういう教育現場であってほしいと思う。</p> <p>義務教育で言えば、小学校から中学校への進学が大きな変化であるから、その</p>

	<p>時に公平に子どもたちを受け止められる環境を整えたいので「積極的に現場に向向いて課題に向き合う」という部分を強調してもらいたい。</p> <p>コロナがどう終焉していくか、今後の自治体の在り様も変わるだろうし、ある意味で公平に圧力をかけられたような状況でどうやって打開するかが大きな一歩になるだろうと思う。</p> <p>少数者だと思われる貧困、ヤングケアラー、ハンデのある子や医療ケアを必要とする子どもたちを米原市は応援するという内容を教育振興のなかでも大きな役割を占める時代になったと思う。「みんなで子どもたちをどうやって守っていくか」という視点を踏まえた計画にしてほしい。</p> <p>奨学金のことで、私自身は高校に出向くことがあり、最近、奨学金制度が充実して進路選択を気軽にできるようになってきたと思う。保護者の中でも「奨学金を使えば良い」と思える人が増えてきているが、せっかく奨学金を使って入学したのに想像と違って途中でやめてしまう子もいると聞いている。給付する時点できちんと「奨学金を受給することへの覚悟」についても話してほしいと思う。</p> <p>クラブ活動費の件でも今までは「親が負担しているのだから、もう少し頑張ってみたらどうか」と言えた部分があるものの、お金を出したらそれで終わりというわけではないという意識を忘れないでほしい。行政の責任として給付したらそれで終わりというのではなく、最終的に本人のためになるのか、その後を見越した支援が行政の役割だと思う。奨学金で進学したが、中退してその後定職に就けない実態もあると聞いている。</p> <p>また「ジュニアリーダー」はかなり昔からあるものであるが、現状はどんな活動をしているのか。これだけ子どもの数が減って、地域での活動も縮小されているなかで、どういう現状になっているのか。</p>
委員	
事務局	<p>地域の子ども会も解散するところが多い状況で、さらに昨年はコロナ禍でもあったため、市の子ども会育成連合会の活動もあまりできなかったが、5、6年生が下級生を積極的に引っ張っていく、リーダー素養を育てるという活動である。竹とんぼなどの昔懐かしい遊びやスキーなどを通して未来のリーダーの育成に取り組むものである。以前に比べれば規模はかなり縮小しているが、積極的に参加してくれる子もいるので次世代のリーダー育成に努めているところである。</p>
市長	<p>予定の時刻となるが、ほかに御意見いかがか。</p>
(委員一同)	<p>(意見なし)</p>

市長 (委員一同) 市長 事務局	<p>それでは、教育基本振興計画の審議会の議論も踏まえて、計画に反映するよう にしてほしい。</p> <p>最後に、もう一度委員の皆さんから御発言いかがか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、以上をもって議事を終了する。</p> <p>これをもって、会議を閉会する。</p>
会議の公開・非公 開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 傍聴者：なし</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の開示・非 開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>
担 当 課	政策推進部政策推進課 (内線4232)